

## ■申酉天中殺の人との人間関係

お互いにかなり強いパワーをもっている者同士の関わり合いですから、いかにも一触即発、触れただけで火花が散りそうな関係に見えます。

しかし、これが意外にも、辰巳天中殺の運を引き出して発展させてくれる良い相性なのです。

「天上」と「西」の欠落関係というこの二人の結びつきは、平和的な、但し前進あるのみの積極的な関係となる傾向があります。確かに、互いにパワーは強いので、決して優しい関係とはいきません。互いのパワーがパシッと音をたててぶつかるような関係と思って下さい。

たとえば、男の世界では良くあることですが、お互いがくたくたになってダウンするまで喧嘩して、「あいつ、なかなかやるじゃないか」と、相手を認めるような、微妙な情が生まれる相性。よく「暮仇きは憎さも憎し、また、可愛い」と云いますが、ちょうどそんな関係です。

「あの野郎には、負けてたまるか」と、会えばケンカになるけれど、しばらく見ないと、「あいつ、何してんだ」と心の中ではちらりと待っているような相手と云うのはよくいるものです。自分では憎らしいのか、好きなのか、よく分らない。でも、張り合うことで互いに戦友のような人情が生まれて、発展性が生じる相性です。競い合いながら、互いを理解しあう男の友情などは、まさにこの天中殺の関係です。

おたがい、言いたい放題いいあっても、決定的なケンカ別れにならず、また、ストレスにもならない……。

こういう関係というのは、パワーのある辰巳天中殺にはなかなか得難い相手です。

だいたい、論理的に理解するというより、感情的、体験的に知恵を重ねていくタイプが辰巳天中殺なので、申酉天中殺の言う厳しい内容があとになって、心にしみる人が多いのです。

「あんなひどいことを言ったけど、……考えてみれば確かにそういう面が私には足りない。良いこと言ってくれたんだ」ケンカのあと、そんな風に思わせてくれる相手がいるとしたら、辰巳天中殺にとって、それは申酉天中殺のはず。

お互いの天中殺がそういう形で影響しあうのです。ですから、他人から見た場合、ケンカしているとしか見えないのですが、この相性の場合ちょっと意味が違うわけです。たがいの力量をそうやって認めあい、心は通じあっているのです。

「仕事をするなら、あいつと組みたい」と指名したりして周囲をびっくりさせたりするわけです。

こういう間柄というのは生涯通じて変わりませんから、仕事上の上司、同僚、部下、得意先はもちろん、友人や恋人、夫婦にも最高の相性の一つと言っていいでしょう。ですから、申酉天中殺の相手と結婚することは、辰巳天中殺にとって非常に有難い、神様の賜物のようなものです。(♠♥亡くなられましたが、映画監督の伊丹十三さん【申酉】と女優の宮本信子さん【辰巳】のお二人が、「お葬式」「マルサの女」……といった名作を次々と生み出しているのも当然なのです)

その代わり、生活にいささか、"甘さ"は欠けますが、強い力で結ばれた同士として長く安定していける関係を築きます。とくに、申酉天中殺の力を受けて、家系からはみ出して行こうとする辰巳天中殺が変わっていきます。そして「家族」の中に安らぎを見出せるようになるのですから、素晴らしい相性です。